

フェニトイン		612000			
フェニトイン		担当部署			
フェニトイン		生化			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→薬物→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		添付文書において、採血管の分離剤の影響を受けるとの記載があるが、当院採用の採血管においては影響は認められなかった。 血中薬物に対する分離剤の影響検討試験結果			
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		トラフ、ピークなどの指示がある場合は、指示通り			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		10～20 μ g/mL(有効治療濃度) ナピア TDM フェニトイン 添付文書				
基準値					単位	μ g/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
10	20	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>フェニトインはヒダントイン系の抗けいれん剤で、てんかんの治療に用いられる。シナプスの post-tetanic potentiation(PTP)を抑制するが、抗てんかん作用はけいれん閾値上昇によるものではなく、発作焦点からの発射のひろがり阻止によるものと考えられている。大発作に有効な抗けいれん薬で小発作には無効であるが、また時には発作頻度を増加させることがあると言われている。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第 4 版 162,2008</p>				